

新潟県

公民館月報



(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

昭和42年11月号 (通刊第177号)

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室内】
【電話・(新潟)(23)6511 内線691】【振替新潟
4094】

発行人 会長 吉津 勝栄
編集人 事務局長 本田 浩

昭和42年11月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価1部20円 共・年額240円】

どうしても

その陸を知りたいために

どうしても

満ちてくるある意志のために

さよほら

光の源と虹と

せめぎあう水と

それらの、心の星がある

海と陸との対話は

いじも かきひなへ解けて

(詩・藤原れい、写真・木村)

公民館の充実振興策

社会教育審議会が答申

公民館の充実振興策については日頃関係者はもとより、その組織をめぐってのりくんでおり、その一環として全公道では、さきに待望の「公民館のあるべき姿」と今日の指導「成案」を発表し、今後「展開」の大きな指針をあたえた。方、文部省においても「公民館の充実振興策」について、社会教育審議会（衆議院選定）に諮問中のため、さる六月廿二日「青少年の読書指導」について、

公民館の充実振興方策について

昭和四十二年六月二十三日

社会教育審議会報告

社会教育の振興に、公民館の只様な機能をもちて社会教育の中心となすべき役割は大きい。公民館的役割を果す施設であり、都市の現状はますますその施設、設備、たると農村たるとを問わず、その職能組織等においても幾多の改善、設備を要するものがある。整備が必要とされているのみならず、大都市や小規模町村においても、その設備をささげないものが、消すための施設を講ずるとも少ない。また、その事業内容においても必ずしも時代に合った住民の要求をささげないものがある。このほか、魅力ある施設として住民の要望に答えることが出来る。

公民館は、本来地域住民のすべてに奉仕することを旨として、日常生活に必要な実際の教育・文化活動を行ない、また住民の自主的な社会教育活動を促すべきである。公民館の事業は、現に、企画により進められること。

一、事業活動について

公民館の事業は、現に、企画により進められること。

諮問報告とあわせて、その報告がなされ、その主要原案を通知し、さる九月中旬に各市町村教育長あてに通知されている。文部省ではこの報告の趣旨を尊重して、今後公民館の充実振興策の推進、留意する考えとすることで、全公道の打ち出した「公民館のあるべき姿」と今日の指導「成案」との共通点も多いことから、今後の展開が期待される。ここにその全文を紹介して参考供する。

- (1) 公民館は、図書館、博物館、公民館事業として重要であるが、とくに都市では、住民の余暇の充実に、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。
- (2) 多数の公民館が相互連携し、事業を共同で企画・実施し、効果を高めその内容の充実を図ること。
- (3) 全国的規模または都道府県規模で組織される高度に充実した教材・資料の提供、巡回を行ない、個別にはどうい企画することのできないような事業を実施すること。
- (4) 職業、技術、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であるが、とくに都市では、住民の余暇の充実に、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。

- (1) 公民館は、図書館、博物館、公民館事業として重要であるが、とくに都市では、住民の余暇の充実に、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。
- (2) 多数の公民館が相互連携し、事業を共同で企画・実施し、効果を高めその内容の充実を図ること。
- (3) 全国的規模または都道府県規模で組織される高度に充実した教材・資料の提供、巡回を行ない、個別にはどうい企画することのできないような事業を実施すること。
- (4) 職業、技術、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であるが、とくに都市では、住民の余暇の充実に、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。

三、職員の充実と資質の向上について

- (1) 館長・主事の専任化と員数の増加
- (2) 主事の職務内容の明確化と員数の基準の設定（とくに小規模町村における主事の養成と確保）
- (3) 給与待遇改善
- (4) 研修・養成の充実と交流の促進

五、その他の措置について

- (1) 他の社会教育関連施設との統合連携について
- (2) 公民館と他の社会教育関連施設との連携
- (3) 公民館と他の社会教育関連施設との連携
- (4) 公民館と他の社会教育関連施設との連携

二、施設・設備について

- (1) 施設としては、「基準」に示されたものを定め、次のような機能を持つ施設が必要である。
- (2) 設備としては、給排水、照明、通風（冷）、暖房などに特に留意する必要がある。
- (3) 備品については、一のような事業の充実をねがなければならないこと、はもとより、住民への利用するものとして家庭ごとに備えることの困難なものを購入公民館に魅力を感じさせる必要がある。
- (4) 職業、技術、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であるが、とくに都市では、住民の余暇の充実に、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。
- (5) 市民性の涵養などの国民的課題の解決のための学習は公民館活動としてきわめて重要なものであるが、これを講演会や講座、外観と内容を整えることが必要である。
- (6) 事業の実施に当たっては、形式的な活動に終始すること避けつねに経営の効率の増大を図り、最少の機能をもって最大の効果をあげるようくふうと努力を怠らないうこと。

公民館の施設は上記のような充実に必要なものであるが、同時に、住民の生活の利便を高めること、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。

公民館の施設は上記のような充実に必要なものであるが、同時に、住民の生活の利便を高めること、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。

公民館の施設は上記のような充実に必要なものであるが、同時に、住民の生活の利便を高めること、生活技術等に関する教育活動は都市・農村ともに、公民館事業として重要であると考えられるが、事業内容の検討と、経営のくふうによって改善されるものも少なくないと思われる。よって次のように企画実施上の配慮を要すること。

エリソン活動に利用できる

エリソン活動に利用できる。公民館活動に参加する婦人のため、乳幼児を託することのできるへや。

エリソン活動に利用できる。公民館活動に参加する婦人のため、乳幼児を託することのできるへや。

エリソン活動に利用できる。公民館活動に参加する婦人のため、乳幼児を託することのできるへや。

教育界の現状

文部省は四十四に伴う新社会教育活動の奨励の観点から、年度確立をめぐり、都府県に伴う社会教育の新体制をめぐり、四十三年度ではとりあえず、体制固めの準備の一として、社会教育関係団体の育成強化、同施設等の整備充実、同通信教育の拡充一などを重視している。

また、図書館は、一億五千万円の予算で大規模、普通型八館、農村型五館を対象に補助するのを、不実な計に公は、移動図書館の未整備な県に、図書館、等は「移動図書館」十七館に補助物館を、都市化する。

このほか、同年度で、文部省が力を入れているのは、大学開放講座の充実だ。二千四百万円の予算で、全国国・公立大学・高等に普通講座百六十四、移動講座二十六各講座を設け、広く一般に開放する。

こうした各施策を通じて、本年度は都市化に伴う社会教育のあり方をまとめる準備段階にはいるわけだが、同省社会教育課は「都市化」というので、都市部ばかりに施策の重点をおくと周囲を受けとられなくなる。農村は、もろくに、へき地、漁村部も含めた都市化に伴う総合的な施策を打ち出そうというものだ」といっている。

団体育成や施設充実

社会教育の 新体制へ 通信教育拡充も

出町村の社会教育課や公民館で実施されている諸活動は、最近はそのものがほしいためか、日常の新聞に載る回数が年々減っているような気がする。また、文部省や県教委が打ち出している社会教育施策も、ときおり大きく記事になったりすることがあるが、おおむね低調で、目につけることが少ない。文部省が鳴りも入りで振興をはかろうとしている諸方策も、町村までくると意に未精的になり、生命力の乏しいものになってしまっている。

新聞記事は社会のうごきを知るバロメーターのようなものだから、そこに表われたものは、比較的確かな意味をもつ事象のように思う。そこで、最近新聞に載ったいくつかの記事を抜粋して御参考にする。

掲載紙は「新潟日報」「日本教育新聞」「朝日新聞」の三紙である。

社教審に正式諮問

教育テレビ専門局設置

先に教育テレビ専門局設置の構想は、「重要 郵政相は、社教審に必要知識、職務教育の想を打ち出した文部省は、十月十日、教育用については確保し、今後、使 教育審料、教授・指導法を、修得 三日開かれる社会教育審議会(衆 用方法を、郵政、文部両省、料する場)とし、また、テレビを利 沼直会長)総会で、同テレビ局設 学技術的な関係等、検討するこ 用して大学の資格がとれるテレ 置をめぐる具体案につき、正式諮 問を明らかにしたこともからん で、審議会の答申が注目される。

また、さる十九日の閣議で、鈴木 文部省の教育テレビ専門局設置 構想の骨子は、社会教育、教同 放送のために、日下の電波を確保 するの専門教育を通じて、国民の生

文化活動の実態は握

社会教育、体育広範に

昨年文化局を新設して「文化行 体育・社会教育の活動状況について、国民の意識、期待等を知る 政」に乗り出した文部省である。これは公民館の現状、国民体育 にかかると、国民の意識、期待等を知る にかかると、国民の意識、期待等を知る にかかると、国民の意識、期待等を知る

このため同省では国民の間で、別 職業別、場所別、主権者別に 活動回数、人数、延べ時間を調べ、 活動状況を把握しようとしている。また、調査内容は活動状況調査を年齢 別に、職業別、場所別、主権者別に 活動回数、人数、延べ時間を調べ、 活動状況を把握しようとしている。また、調査内容は活動状況調査を年齢

(松下三郎会長)は、十月いっばいで全委員(十四人)の任期が切れるので、同月中に鈴木文相は新委員を任命し、十一月一日、新体制で発足。翌二日の初会合で諮問を付託審議する予定。

いままのところ、新委員のメンバーは明らかにされていないが、教育テレビ専門局設置について本稿審議をするため、分科会の構成に新風を送り込むのを目的に、部委員の變動の可能性もいっぶんあるものとみられる。

なお、文部省としては、遅くとも来年三月いっばいには答申を出すよう希望している。

の関心の有無、活動阻害種目中、希望する活動内容を調べる。さらに社会教育活動は社会教育等級・海陸等に対する知識、参加の有無を職業別、出身学校別に調べる。とともに参加契機、希望学習内容団体への参加状況などを調査する。

文化活動では和洋裁の講習会なども含まれ、スポーツでは定期的な散歩もスポーツとみなし、社会教育活動では労働関係の講座を含むものになっている。さらに三冊の新動状況では幼児・児童の有無によつてどう変わるかなど詳細な調査が明らかにされる。

魂をゆさぶる

「われら太陽の家族」

I C B M

ひとりと

去年のことだった。一人問頭数の多いばかりが能った。さうして一気になんかして、
あ、隣の公民館で「じゃねえ」とはいうものの、このまっただが、「巻をおくあたまわす」
演会を開いた。講師は数人、たまたまのM先生の立場とこのことだね。古木さんとい
新潟あたりからつれてが気の毒になった。(人ごとじゃ
う。九大教授の高橋謙孝先生だ。演をききにこない人たちが、なぜ
先生は新潟日報の「悩んでいまこないのさうと、気の毒なよう
す」の解答者の一人だ。人生相談な、うらめしいような気がして、
の解答者に新聞に雑誌に数多い考えを尋ねた。たなあ。打つ
が、先生は一人者だ。編々として手は何か(おれとしてはないわけ
て気がす、えらぶら、解答にではないが、今はのべない)
なるよりならぬようなこと
を書いて、しかも、せつばつまつ
を質問者へ、心のゆとりを与える。いくらラジオ・テレビ・録音
による解答だ。おれは先生の人
ががすつかり好きになつてしま
つたもんだ。(人がよりの酒のす
きだところがあるのじゃねえの
か)先生の本も、三冊のんでみ
たが、みなおもしろい。隣の公
民館もいろいろと感心し
た。当代一流の先生を講師にお
んだからね。

おれはもう一人も読んでいた。
講演の一時間は時間も忘れてき
いたね。本がよかったです。と
でた。おれは両方気がなくて
何人ぐらいかとみたら、終わる
ても百人に足りないという人数
去年のことだった。一人問頭数の多いばかりが能った。さうして一気になんかして、
あ、隣の公民館で「じゃねえ」とはいうものの、このまっただが、「巻をおくあたまわす」
演会を開いた。講師は数人、たまたまのM先生の立場とこのことだね。古木さんとい
新潟あたりからつれてが気の毒になった。(人ごとじゃ
う。九大教授の高橋謙孝先生だ。演をききにこない人たちが、なぜ
先生は新潟日報の「悩んでいまこないのさうと、気の毒なよう
す」の解答者の一人だ。人生相談な、うらめしいような気がして、
の解答者に新聞に雑誌に数多い考えを尋ねた。たなあ。打つ
が、先生は一人者だ。編々として手は何か(おれとしてはないわけ
て気がす、えらぶら、解答にではないが、今はのべない)
なるよりならぬようなこと
を書いて、しかも、せつばつまつ
を質問者へ、心のゆとりを与える。いくらラジオ・テレビ・録音
による解答だ。おれは先生の人
ががすつかり好きになつてしま
つたもんだ。(人がよりの酒のす
きだところがあるのじゃねえの
か)先生の本も、三冊のんでみ
たが、みなおもしろい。隣の公
民館もいろいろと感心し
た。当代一流の先生を講師にお
んだからね。

おれはもう一人も読んでいた。
講演の一時間は時間も忘れてき
いたね。本がよかったです。と
でた。おれは両方気がなくて
何人ぐらいかとみたら、終わる
ても百人に足りないという人数
去年のことだった。一人問頭数の多いばかりが能った。さうして一気になんかして、
あ、隣の公民館で「じゃねえ」とはいうものの、このまっただが、「巻をおくあたまわす」
演会を開いた。講師は数人、たまたまのM先生の立場とこのことだね。古木さんとい
新潟あたりからつれてが気の毒になった。(人ごとじゃ
う。九大教授の高橋謙孝先生だ。演をききにこない人たちが、なぜ
先生は新潟日報の「悩んでいまこないのさうと、気の毒なよう
す」の解答者の一人だ。人生相談な、うらめしいような気がして、
の解答者に新聞に雑誌に数多い考えを尋ねた。たなあ。打つ
が、先生は一人者だ。編々として手は何か(おれとしてはないわけ
て気がす、えらぶら、解答にではないが、今はのべない)
なるよりならぬようなこと
を書いて、しかも、せつばつまつ
を質問者へ、心のゆとりを与える。いくらラジオ・テレビ・録音
による解答だ。おれは先生の人
ががすつかり好きになつてしま
つたもんだ。(人がよりの酒のす
きだところがあるのじゃねえの
か)先生の本も、三冊のんでみ
たが、みなおもしろい。隣の公
民館もいろいろと感心し
た。当代一流の先生を講師にお
んだからね。

おれはもう一人も読んでいた。
講演の一時間は時間も忘れてき
いたね。本がよかったです。と
でた。おれは両方気がなくて
何人ぐらいかとみたら、終わる
ても百人に足りないという人数
去年のことだった。一人問頭数の多いばかりが能った。さうして一気になんかして、
あ、隣の公民館で「じゃねえ」とはいうものの、このまっただが、「巻をおくあたまわす」
演会を開いた。講師は数人、たまたまのM先生の立場とこのことだね。古木さんとい
新潟あたりからつれてが気の毒になった。(人ごとじゃ
う。九大教授の高橋謙孝先生だ。演をききにこない人たちが、なぜ
先生は新潟日報の「悩んでいまこないのさうと、気の毒なよう
す」の解答者の一人だ。人生相談な、うらめしいような気がして、
の解答者に新聞に雑誌に数多い考えを尋ねた。たなあ。打つ
が、先生は一人者だ。編々として手は何か(おれとしてはないわけ
て気がす、えらぶら、解答にではないが、今はのべない)
なるよりならぬようなこと
を書いて、しかも、せつばつまつ
を質問者へ、心のゆとりを与える。いくらラジオ・テレビ・録音
による解答だ。おれは先生の人
ががすつかり好きになつてしま
つたもんだ。(人がよりの酒のす
きだところがあるのじゃねえの
か)先生の本も、三冊のんでみ
たが、みなおもしろい。隣の公
民館もいろいろと感心し
た。当代一流の先生を講師にお
んだからね。

匿名仮面

一なおざりな新生活運動

つねに、その必要性が感じら
れていながら等閑視されがち
のが新生活運動である。
新潟県本で盛り盛りがあつた
この運動も三年たった今日では
死ぬでもない正々でもないし
といった状態である。
関係者のあいだには、新生活
運動そのものの解釈や領域が、
ひじょうに広すぎるのが振る
わせらぬ原因の一つだ。
といわれている。
しかし、この「必要性の認
識」と「領域の広さ」は、考え
方やもっていき方によつては、
むしろ推進しやすい条件なので
はないだろうか。
つまり、つねにその必要性が
認識されているというところは、
呼びかければ容易に理解や賛同
が得られる、ということであ
る。また、領域が広いというこ
とは、数多くの団体や機関を結
集して、大きな組織をつつと
とができるということである。
この二つの原動力を生かして、
それぞれの地域で推進組織を再核

柴田 康三
渡辺 牧翠
松野 おさむ
高橋 曲 街
みなも濃き若風風に入らしすしと少女に乳語に筆をあたま
(おまみみ短歌会作品・東頸村公民館内)
一流講師をた
のむと一万円近
いかねが必要
だ。これらの本
一流講師をた
のむと一万円近
いかねが必要
だ。これらの本

つねに、その必要性が感じら
れていながら等閑視されがち
のが新生活運動である。
新潟県本で盛り盛りがあつた
この運動も三年たった今日では
死ぬでもない正々でもないし
といった状態である。
関係者のあいだには、新生活
運動そのものの解釈や領域が、
ひじょうに広すぎるのが振る
わせらぬ原因の一つだ。
といわれている。
しかし、この「必要性の認
識」と「領域の広さ」は、考え
方やもっていき方によつては、
むしろ推進しやすい条件なので
はないだろうか。
つまり、つねにその必要性が
認識されているというところは、
呼びかければ容易に理解や賛同
が得られる、ということであ
る。また、領域が広いというこ
とは、数多くの団体や機関を結
集して、大きな組織をつつと
とができるということである。
この二つの原動力を生かして、
それぞれの地域で推進組織を再核

